



墨田区の図書館 30年

昭和 55 年

八広図書館

昭和 55 年

立花図書館

昭和 37 年

あずま図書館

昭和 32 年

緑図書館

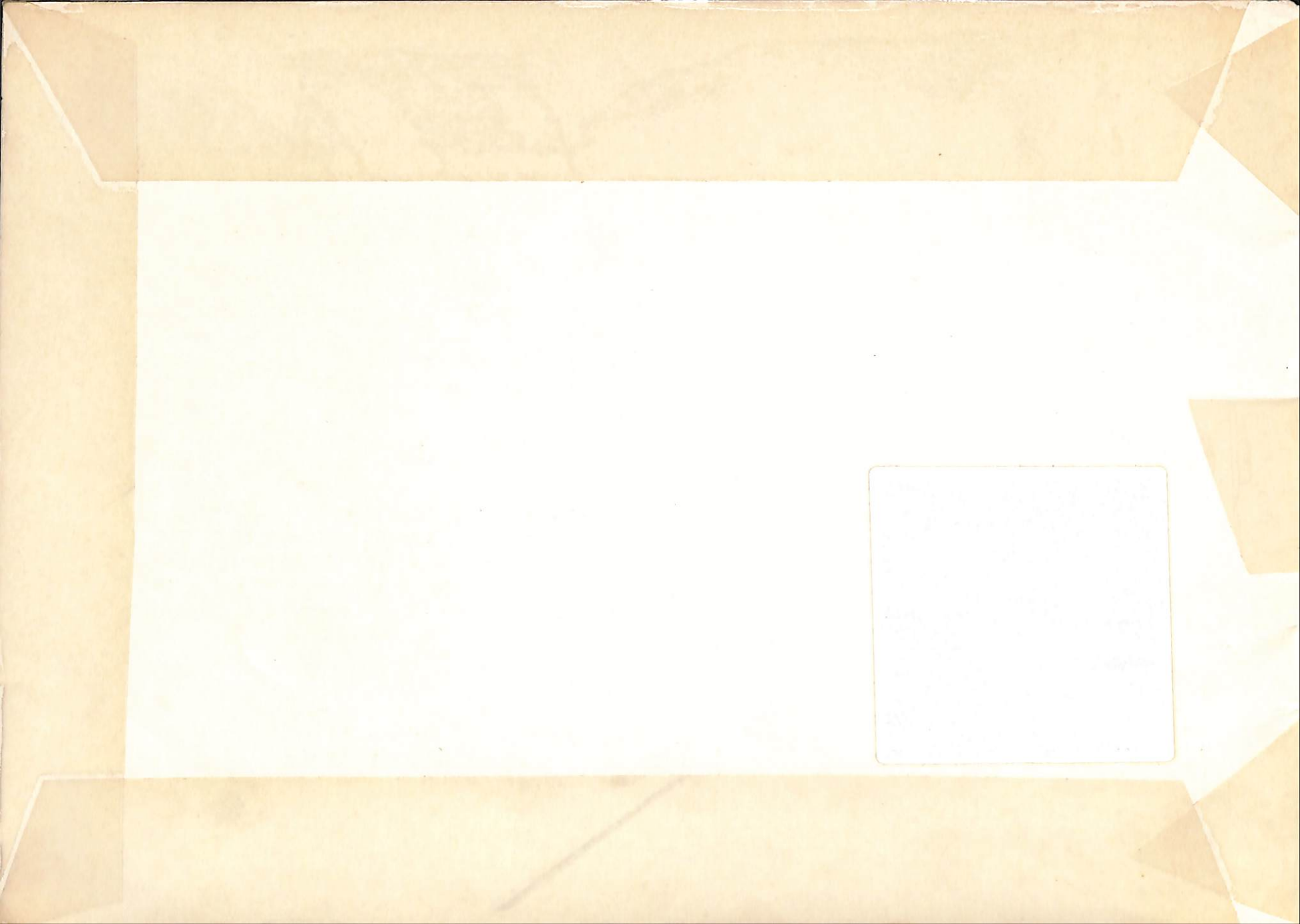
昭和 26 年

寺島図書館

ひきふね自動出納



11134150



はじめに

墨田区の図書館は、いま、30年の年輪と足跡を印すところまで進んでまいりました。このひとつの節目を機会に、改めて墨田区史に見る図書館の歴史を振り返ることも意義あることと考え、その要点を紹介いたします。

○東京市立本所簡易図書館

明治44年（1911年）本所区北二葉町11番地

本所高等小学校内に開設

大正2年（1913年）4月 東京市立本所図書館と改称

大正12年、関東大震災で焼失

大正13年、太平町一丁目1番地に仮建築、6月再開

昭和3年、太平町一丁目91番地、法恩寺境内に新館落成

昭和20年3月10日、戦災により焼失

○東京市立中和図書館

大正3年8月、本所区林町三丁目40番地

中和尋常小学校内に開設。

大正12年、関東大震災で焼失

大正13年、復興再建

昭和4年、本所表町に明德小学校建設（近代的設備の図書館が併設）

昭和5年、明德小学校に移転

昭和5年10月、東京市立東駒形図書館と改称

昭和20年3月10日、戦災により焼失

○町立寺島図書館

昭和3年12月12日、町議会設立の件議決

※御大典（11月14日天皇即位の儀式）記念事業による

南葛飾郡寺島町1555番地 旧寺島小学校校舎に開設

昭和4年6月17日から閲覧を開始

昭和7年10月、東京市に移管

昭和20年5月25日、戦災により焼失

このように墨田区は、図書館について、長い歴史のかかわりのあったことが伺い知れます。

墨田区立図書館30年の歩み（略年表）

昭和25年度・図書館法公布（4月1日）

同 26年度・寺島図書館設置。

（都立日比谷図書館寺島分館建物の移管による）

同 27年度・寺島図書館開館。江東ブロック図書館研究会発足。

同 28年度・巡回文庫始める。（文化係と提携）

・夏期夜間開館実施（7—8月）昭和51年まで。

同 29年度・緑分館開設。（緑小学校内に寺島を母体として設置）

同 32年度・緑図書館開館。

同 34年度・墨田区立図書館報発刊。

同 34年度・墨田区立図書館総合目録発行。

・レコードコンサート始める。（緑）

同 35年度・母親読書会及び座談会を開催。

同 36年度・レコードの館内利用始める。（緑）

・図書館友の会「うずの会」発足。（39年まで）

同 37年度・あずま図書館開館。

・墨田区立図書館連絡協議会（3館協議会）発足。

同 38年度・東京都公立図書館長協議会「東京都公立図書館の現状と問題点」を発行。

・日本図書館協会「中小都市における公共図書館の運営」発行。

同 39年度・規則改正、貸し出しを1人2冊10日間とする。

（保証人への「はがき」照会廃止）

・寺島図書館改築のため、仮設館で業務執行。

同 40年度・寺島図書館改築落成開館。

・採集物を調べる会（後、自然を学ぶ会48年まで）

・肢体不自由児に資料宅配始める。（緑）

・都立図書館からの協力車運行始まる。

同 41年度・成人を祝う会に図書館案内を配布。

・現代作家原稿展開催。（寺島）

・館内利用の際の図書閲覧票の記入廃止。（あずま）

昭和43年度・図書予約貸し出し始める。

- ・冷暖房設備設置さる。
- ・図書館利用の手引小学校に配布する。(あずま)

同 44年度・子供への図書貸し出しをブラウン式にする。

- ・子供用貸出袋を配布する。
- ・新刊雑誌の貸し出し始める。

同 45年度・返却用ブックポスト設置。(緑)

- ・子供へのお話しの時間を始める。(あずま)

同 46年度・子供の貸し出しを無記載式にする。

同 47年度・墨田区立図書館資料相互貸借規程作成，実施。

- ・一般への貸し出しを無記載式にする。
- ・館内自由閲覧とする。
- ・入館票廃止，集中カウンター制とする。(あずま)

同 48年度・入館票廃止。(緑・寺島)

- ・新聞ブルグ発行。(あずま)
- ・共同書庫(資料保存)できる。

同 49年度・墨田区立図書館に関する規則を廃止，墨田区立図書館運営規則施行。

(貸出冊数等改正) 個人 1人5冊 3週間

団体 100冊 1カ月

文庫 300冊 3カ月

- ・複写サービス始める。

同 50年度・レコードの館外貸し出し始める。

- ・図書の消耗品扱い決まる。

同 51年度・視覚障害者にカセットテープの貸し出し始める。

- ・集中カウンター制とし，子供室に担当職員を配置する。(緑)
- ・開館時間の延長をする。(平日午後7時まで)
- ・出入口のスロープ化及び自動ドアの設置。(あずま)
- ・小冊子墨田区の図書館発行。

昭和53年度・文庫，団体だよりの発行を行う。

- ・あずま図書館だよりの発行を行う。
- ・文庫団体と図書館との懇談会を行う。
- ・朗読者養成講座を開催する。
- ・墨田区立図書館録音奉仕者設置要領制定。

同 54年度・図書館振興対策プロジェクト検討始まる。

- ・立花・八広両図書館開設準備始まる。(寺島)

同 55年度・立花(6月)八広(10月)開館。

- ・図書館振興対策プロジェクト答申案まとまる。
- ・文庫，団体への配本(車)業務始まる。
- ・あずまを特定館，他館を一般館に組織改正。
- ・墨田区声の図書館貸出実施要領制定。
- ・墨田区立図書館対面朗読実施要領制定。

同 56年度・盲人用録音物等発受施設の指定を受く。(あずま)

- ・墨田区立図書館拡大写本サービス実施要領制定。

ここに改めて30年を顧みるとき，幾多の変革と進展の跡を見ることができます。図書館が，健康で豊かな文化生活と生涯教育への期待に応えるため，奉仕活動の充実に努め，本との結びつきの輪を拡げる子供のための行事，本の読み聞かせ，地域の家庭文庫，読書グループの活動への援助，成人への利用の働きかけ，障害者に対するボランティア活動を軸とする朗読奉仕等，きめ細かいサービスの推進が図られて，暮らしに役立つ身近な図書館の実現を指向し，その施策を進めた足跡をみることもできると思います。

この後もなお，広く区民に開かれた図書館として，教育，文化の発展に寄与し，区民の教養，調査研究，レクリエーション等に資し，真に区民の広場として定着することを願い，発展を期するよう運営に努め，過去の積み上げにも増して進展を図っていく必要があります。

墨田区立図書館の利用案内

はじめての方に

本等、図書館のものを借り出さない限り、入館には何の手続きもありません。気軽にお入りいただけます。

図書館のどんな資料を利用されても、コピーサービス以外は無料です。

館外貸し出し

墨田区に住んでいる方、通勤、通学先のある方ならば、どなたでも利用できます。

貸し出しは、1人、1回5冊まで、3週間借りられます。

借り出し申込書を書くと、1年間有効の借出券が受けられ、館内の本を自由に手にとって選べます。

中学生以上の方は、住所を確認できるもの（学生証、運転免許証、保険証等）をお持ち下さい。

借出券は、区内のどの図書館でも利用できます。

リクエスト（予約）サービス

各館では、御希望の本が貸し出し中等で見当たらないときは、リクエストをお受けし、返却待ち、購入、他館からの借り受け等によって、御要望に應えるように努めています。

レファレンス（参考）サービス

本のこと、あるいは暮らしや仕事についての調べものなどのお手伝いをいたします。気軽にご相談下さい。

館内閲覧

館内には、読書室、閲覧座席等を設け、利用の便を図っております。調べものがあるときなどに利用して下さい。

児童（子供）室

絵本、紙芝居等もそろえてあります。本の読み聞かせなども行っています。

グループ利用

グループでの調査、研究、読書、その他のサークル活動などの利用もできます。

集会室、ホール等

立花、八広の両図書館には集会室やホールがあります。地域や団体の集まりに利用できるほか、卓球もできるようになっています。又、お年寄りの方の憩いの場として畳の部屋もあり、囲碁、将棋の用意もあります。

レコード、カセットテープ

中学生以上の方には、レコード、カセットテープの貸し出しをしています。1人、1回3点（枚）まで貸し出します。本と両方借りるときは、併せて5点（冊）までです。

障害者へのサービス

目の不自由な方のために、市販のカセットテープのほかに、本を録音した録音図書を作成、対面朗読、点訳サービスも行っています。

コピーサービス

図書館の資料に限って、一定の制限はありますが、コピーサービスを有料で行っています。

行事、催しもの

子供の行事として、人形劇、子供会など、一般向けとして講演会等の催しも実施しています。

開館時間

○あずま、緑、寺島、八広図書館の開館時間

平日（土曜日を含む）＝午前9時～午後7時

日曜（第1、3、5日曜）＝午前9時～午後5時

※立花図書館は、開館日は他館と同じですが、閉館時刻が平日、日曜いずれも午後5時になっています。

○立花、八広両図書館の集会室、ホール等の利用時間

平日（土曜日を含む）＝午前9時～午後9時

日曜（第1、3、5日曜）＝午前9時～午後5時

休館日

○各館とも毎月第2、4日曜日と第1、3、5日曜日の翌日及び毎月20日（整理日）、国民の祝日、年末年始と特別整理期間ですが、これが祝日等と重なる時は、翌日も休館になります。

利用状況の推移

() 内数は障害者サービス関係を内数で示す

年度		47	48	49	50	51	52	53	54	55
区分		3	3	3	3	3	3	3	3	5
個人登録者数	社会人	3,931	3,806	4,643	5,196	(27) 5,642	(40) 6,599	(42) 7,028	(55) 7,228	(46) 9,689
	学生	5,005	4,563	4,831	5,062	5,311	(1) 5,424	(1) 5,329	(2) 4,962	(1) 5,083
	中学生	2,400	2,588	2,497	2,323	2,804	3,034	3,285	2,893	(1) 4,037
	小学生	9,159	10,019	8,791	9,128	8,892	8,696	9,138	8,626	(2) 12,490
	幼児			1,771	1,880	(1) 2,144	(1) 2,142	(1) 2,049	(1) 1,608	(2) 2,795
	計	20,495	20,976	22,533	23,589	(28) 24,793	(42) 25,895	(44) 26,829	(58) 25,317	(52) 34,094
個人館外貸出冊数	一般図書	170,641	163,480	210,465	241,770	259,843	(88) 301,568	(96) 336,429	(125) 349,438	(167) 410,622
	児童図書	164,320	191,563	215,709	236,538	259,596	265,712	(11) 274,862	(7) 263,221	(33) 373,822
	視聴覚資料			756	4,639	(434) 9,578	(1,262) 10,841	(1,639) 11,719	(2,353) 12,808	(4,245) 31,809
	計	334,961	355,043	426,930	482,947	(434) 529,017	(1,350) 578,121	(1,746) 623,010	(2,485) 625,467	(4,445) 816,253
団体	登録数	65	77	52	49	(2) 79	(3) 91	(3) 53	(3) 72	(3) 82
	貸出冊数	4,085	3,436	4,568	10,812	(120) 12,871	(523) 13,426	(639) 15,435	(595) 9,438	(675) 14,133
リクエスト	受付件数			5,009	4,984	5,908	7,359	7,715	6,689	8,989
	処理冊数			5,203	5,216	6,433	7,331	8,101	7,140	9,515
相談調査件数		1,965	6,251	544	799	1,417	1,057	1,307	1,229	2,018
複写サービス枚数				12,977	25,412	32,145	34,296	39,536	33,915	35,601
グループ活動	利用件数	567	861	735	1,169	2,025	2,395	3,323	2,916	2,457
	催しもの回数			385	387	416	418	411	398	391
	催しもの人数	3,936	8,386	6,975	8,827	9,333	9,523	7,274	5,694	6,155

図 書 館 指 標

指標内訳		年 度	47	48	49	50	51	52	53	54	55
図 書 保 障 率	(区民1人当り)	$\frac{\text{年間購入冊数}}{\text{人 口}}$	0.06 冊	0.07	0.07	0.11	0.11	0.13	0.14	0.14	0.20
	(")	$\frac{\text{年間購入金額}}{\text{人 口}}$	52 円	61	79	108	110	136	184	343	340
	(")	$\frac{\text{蔵 書 冊 数}}{\text{人 口}}$	0.59 冊	0.60	0.65	0.79	0.91	0.97	1.08	1.16	1.53
借出申込者率(登録率)		$\frac{\text{申込者数}}{\text{人 口}} \times 100$	7.71 %	8.11	8.81	9.39	10.07	10.71	11.23	10.82	13.09
図書利用率(貸出率)		$\frac{\text{館外貸出冊数}}{\text{人 口}}$	1.26 冊	1.37	1.69	1.97	2.20	2.39	2.60	2.66	3.49
蔵 書 回 転 率		$\frac{\text{館外貸出冊数}}{\text{蔵書冊数}}$	2.13 回	2.28	2.41	2.48	2.41	2.45	2.40	2.24	2.27

分 類 別 蔵 書 冊 数

年度		47	48	49	50	51	52	53	54	55
分 類	館数	3	3	3	3	3	3	3	3	5
0 総 記		6,095	6,490	7,010	7,391	8,499	9,267	10,648	11,924	13,707
1 哲 学		5,977	6,496	6,775	7,086	7,751	8,031	8,472	8,951	10,237
2 歴 史		14,183	15,688	16,436	18,202	19,968	20,400	22,439	23,511	28,723
3 社会科学		24,194	26,398	27,113	29,453	31,794	32,974	35,107	36,444	40,316
4 自然科学		9,011	9,976	10,427	11,478	12,527	13,018	14,023	14,300	16,863
5 技 術		8,811	9,412	9,876	10,911	11,947	13,345	14,934	16,186	25,430
6 産 業		4,029	4,357	4,491	4,887	5,283	5,778	6,447	6,608	8,169
7 芸 術		10,219	11,249	11,905	13,526	15,156	17,047	18,938	20,669	27,494
8 言 語		2,991	3,180	3,237	3,451	3,665	3,948	4,224	4,321	5,079
9 文 学		37,370	41,467	43,794	46,625	51,860	55,091	60,226	64,020	80,372
児 童 書		18,578	20,701	24,467	29,514	35,402	36,976	41,389	44,703	65,685
絵 本		5,626	8,128	11,546	15,146	18,789	18,168	20,782	20,985	34,210
紙 芝 居			926	1,213	1,519	1,896	1,485	1,673	1,527	2,824
計		147,084	164,468	178,290	199,189	224,537	235,528	259,300	274,148	359,109

障 害 者 奉 仕 概 況

区 分		年 度	52	53	54	55	備 考
登 録 状 況	個 人 登 録 者 数		42	44	58	54	
	団 体 登 録 数		3	3	3	3	
資 料 現 況	市 販 テ ー プ		1,057	1,392	1,872	1,698	
	自 主 作 成 テ ー プ		0	81	280	335	
	拡 大 写 本		0	122	178	225	
	点 字 図 書		0	4	81	91	
貸 出 状 況	個 人	カセツトテープ	1,262	1,639	2,353	4,245	
		点字図書、拡大写本	88	107	132	206	
	団 体	カセツトテープ	523	639	595	675	
		点字図書、拡大写本	0	0	0	0	
奉仕者養成各種講座開催			0	4	4	12	
対面朗読奉仕件数			0	0	0	2	
施設間資料相互貸借 (地区、類縁機関相互)		借 入	0	6	159	271	
		貸 出	0	0	60	33	
奉 仕 者 (ボランティア) 登 録 数	録音(朗読)		0	19	19	45	
	対面朗読		0	0	0	27	
	拡 大 写 本		0	0	0	0	
	点 字		0	0	0	0	

障 害 者 サービス の 経 過 と 現 状

図書館における障害者サービスは、緒について幾何の年月を経るに至っていませんが、公立図書館では次第にそのサービスの輪を拡げつつあるものと思われ、今後幾多の課題にも取り組んでいかなければならない状況にあります。今日までの本区の状況を紹介します。

●昭和49年1月・障害者サービス小委員会を設置

(各館1～3名で構成、障害者サービスについて検討を始める。)小石川、豊島、日本点字図書館、日盲福祉センター等を見学

●昭和50年度・視覚障害者サービス用として、市販カセットテープを購入

(各館48万円……3館)

- ・テープ目録作成(500タイトル700本)
- ・視覚障害者手帳1～3級所持者(266人)に対しPR(目録配布等)開始

●昭和52年度・墨盲協「声のたより」にテープ団体貸出開始

- ・フェルト会より拡大写本の寄贈を受ける

●昭和53年度・朗読者養成講座(全6回)開講

- ・利用者と朗読者の懇談会開催
- ・朗読者の自主サークル「くさぶえ」誕生
- ・朗読者養成講座(続)開講(2回)

●昭和54年度・「声のたより」で新刊紹介始める(毎月5～8冊)

- ・朗読者養成講座中級(全5回)開講
(内1回は「くさぶえ」が主催)

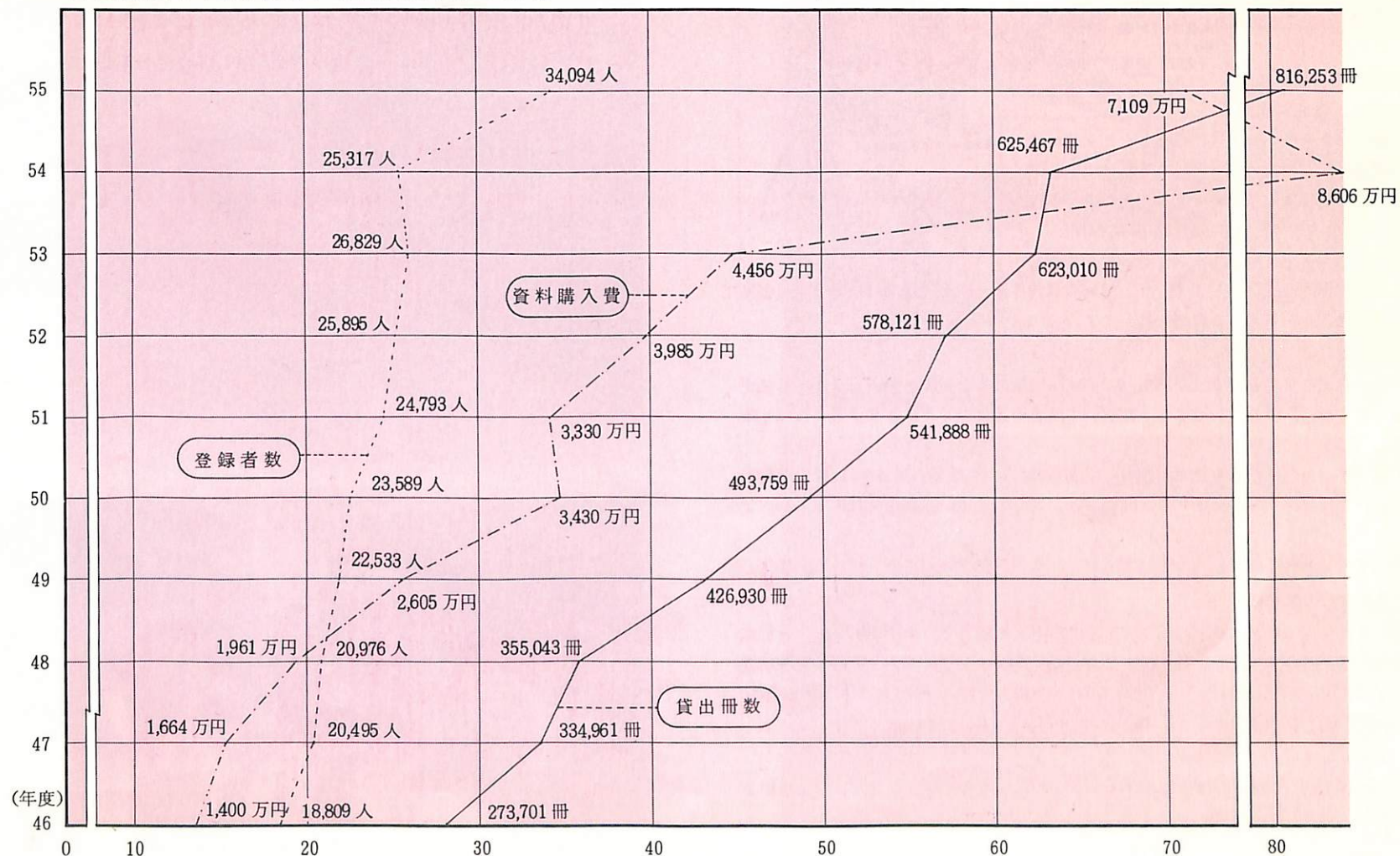
●昭和55年度・対面朗読講習会(全2回)開講

- ・初級朗読者養成講座(全8回)開講

●昭和56年度・写本サービス実施

- ・初級朗読者養成講座(全9回)開講

貸出冊数、登録者数、資料購入費の推移



あずま図書館

文花1の19-1

☎ 612-6048

東武小村井駅 7分

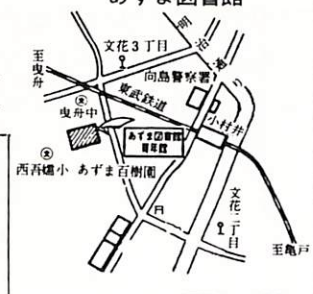
都バス

《里22》文花二丁目 7分

《上37》

《平23乙》 文花三丁目 2分

あずま図書館



- 当図書館構内の前庭には緑地を備え、背面にはあずま百樹園があって、たくさんの緑をたたえています。図書館は、この緑に包まれるように建てられています。図書館に接して曳舟中学校、西吾嬬小学校があり、至近に吾嬬第三中学校、文花小学校のほか、区立保育園3園と児童館1館、私立の幼稚園2園もあって、文教地区の観があります。又、地域の状況は近くの文花団地、極めて人口密度の高い京島地区を背景として立地しています。

●子供のために

幼児期から本に親しみ、本との結びつきによって健やかな育成を願い、全体として児童図書を多く揃え、紙芝居、絵本も多数置いて読書の基盤づくりに寄与するようにしています。

又、毎日3時から紙芝居や絵本を使つての読み聞かせや、毎週水曜日には、軽い運動、折紙、工作等のレクリエーションの時間を設け、親しみやすい図書館を目指しています。

夏休みやクリスマスには、人形劇なども行い、節句、七夕等の行事も行っています。

●目の不自由な方のために

市販のカセットテープのほか、ボランティアの方々の協力で、本をカセットテープに録音した声の図書の貸し出しを行っています。又、直接本を読んでさしあげる対面朗読と、本を大きな字に写し替えた拡大写本の作成貸し出しのほか、書物を点字に直す点訳、点字を一般の文字にする墨字訳も希望により行っています。

●文庫、団体への貸し出し

家庭文庫や学校、職場の読書会等のグループを作られる方の相談を受け、配本車による貸し出し、回収の便を計っております。



緑 図 書 館

- 緑図書館は、総武線両国駅からガードに沿って歩いて約10分、緑公園の横にあります。

錦糸町駅からだと歩いて約15分かかります。

- 建物は、鉄筋2階建て、1階には児童用図書、絵本、紙芝居を置いた子供室と、一般利用のための小説類、旅行関係書、家事家庭関係書、貸し出し用新刊雑誌と婦人雑誌類等を置いています。図書の貸し出し、返却はすべて1階のカウンターでできます。又、1階入口のすぐ右脇には、会合や談話用の部屋があります。利用の際はカウンターで受け付けます。2階は辞典、図録類、郷土資料等を揃えた第1閲覧室と、読書や調べものに使う第2閲覧室、それにレコード、テープの貸し出し、返却窓口、館内利用の新聞、雑誌コーナー、資料についての相談カウンターがあります。

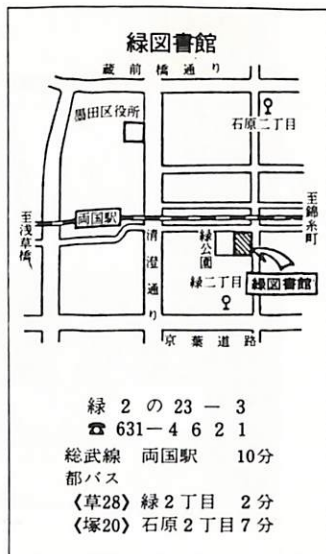
中2階には社会学、教育、風俗、自然科学、工業、商業、芸術、スポーツ、言語等の図書があります。2階には、哲学、人生論、歴史、法律、経済関係の図書を置いています。

- 緑図書館は、区の南部地区を中心として、子供や女性に親しまれる図書館として、又、資料の貸し出しを中心としている第一線の図書館で、大きな流れとして都立中央図書館、更には国立国会図書館へとつながっております。

- 緑図書館では、墨田区に深いかかわりを持つ隅田川を中心とした江戸時代から現代までの地図類、地誌、錦絵、写真、古文書等郷土資料のほか、行政資料の収集も行っております。

- その他、障害者サービスとして、ボランティアによる図書の録音奉仕や、対面朗読等も実施しております。

規模の小さな図書館ですが、区民に使い易い、実用的な図書館を目指しています。



寺島図書館

東向島3の34-4
☎ 611-4610

東武・京成 曳舟駅 7分
都バス
《里22》 百花園前 5分
東向島1丁目 3分

寺島図書館



- 寺島図書館は、町立寺島図書館から東京都立図書館になり、昭和26年墨田区に移管され、区立図書館として再出発し今日に至っております。都内でも長い歴史をもった図書館ですが、戦時中の取壊し、東京大空襲等により、戦前の資料はその殆んどが焼失、散逸してしまいました。

現在の図書館は、昭和40年に全面改築された3階建の図書館で、外壁赤レンガ造りで当時としてはモダンな建物でした。

- 図書館の1階部分は、車椅子でも利用できるように専用スロープを設け、新聞、雑誌室、子供室、事務室になっており、広いロビー形式のホールには、160種の雑誌、25種の新聞が常時利用でき、又最新の旅行案内資料コーナーを設置してあります。
- 子供室は、幼児向けの絵本、紙芝居の部屋と、児童図書の部屋に分け、2万3千冊の図書、絵本、紙芝居を揃えております。

事務室の扉を取り除き、常に区民の皆さんと密着したサービスをと心掛けております。

- 2階は、一般用の公開書架で、書架と書架の間を広く開け、気軽に利用できるよう配慮し、書架には7万7千冊の蔵書を配し、各主題の資料が一目で分かるように見出しがついています。
- 3階は、集会、会議室、調査研究、レクリエーションに使用できるグループ室、静かな環境で読書ができる読書室に分れています。図書館資料と利用者を結ぶパイプ役を果たすために年3回、有名作家、評論家等を招き、種々の講演会を開催しております。
- その他、子供に対する情操を深めるため、月2回の子供映画会、読み聞かせ、お話し会等を実施し、障害者に対し対面朗読や、ボランティアの人達によるテープ吹込みを実施しています。
- コピーサービス、レコード、カセットテープ（約2千点）の貸し出し等のサービスも行っております。



立花図書館

当館は、昭和55年6月、墨田区では4番目に開館した図書館です。都営立花六丁目アパートの1階部分を、東京都から区が無償で借り受けて開設したものです。

この周辺は、商工混在の街で、人口約2万人を教えますが、開館前は西へ1キロメートル程のところに「あずま図書館」があっただけで、本の過疎地帯でした。

主に、子供と婦人の利用を中心とした蔵書や設備を整えていること、地域の教育、文化、レクリエーションなど、多目的に利用できるよう集会所も併設していることなどを特色とし、これまでの図書館とは異なった新しいタイプの図書館です。



●図書館はワンフロア

図書館はワンフロアで、全体が見渡せるように壁側以外の書架はすべて低くし、中央には母親が幼児にゆっくり本を読んでやれるように、じゅうたんを敷いた絵本コーナーを設けています。

●からだの不自由な方のために

車いす、専用机、身障者用トイレの設備のほか、書架の間隔を広くとり、車いすでも楽に本を扱えるように工夫してあります。

●その他 コピーサービス、ベビーカー、カセットの試聴装置もあります。

●ホール（体育室）には、映写スクリーン、卓球台（4台）、があり、和室には将棋、囲碁、自動マッサージ機の設備があります。

●蔵書は、児童書1万3千冊（内絵本5千冊）、婦人向けの暮らしの本を主とした一般書1万2千冊のほか、紙芝居が740組、カセットテープが950組あります。



八 広 図 書 館



- 高層アパートの1階に** 当館は、都営八広五丁目アパート(14階建)の1階にあり、前は都立義護学校、区立八広公園で曳舟川通りに面し、後はすぐ京成線が走っています。
- 広くて明るく暖かみがある** 館内は、できるだけ壁をなくし、見通しよく、車椅子や乳母車で利用できるように家具類も配置してあります。車椅子用のトイレもあります。
- 豊かな資料がさがしやすく** 暮らしに役立つ本やこどもの本、絵本、紙芝居をはじめ、雑誌、新聞、大活字本、カセットテープ、レコード等豊かな資料と出会えます。全国の電話帳や行政資料、パンフレット等もあります。これらの資料がさがしやすいように分類して配架し、目録を整備しています。
- 談話や交流の場に幅広く** 談話のためのロビー、卓球、映画会、展示会、各種会合等に使えるホール、囲碁、将棋、チェス、マッサージ機等もある和室、ステレオもあって、踊りのできる板の間もあり、憩い、趣味、学習、交流などに利用いただけます。印刷室、湯沸室等もあります。
- コンピューターを道具として** 自館処理、リアルタイム処理方式のコンピューターを、貸出、返却、予約、資料検索、資料構成、蔵書点検等に使っています。読書の秘密は守ります。
- 地域の文化活動の拠りどころとして** 図書館では毎日3時に“お話しタイム”をやっていますし、手作りの会、こども会、講演会等、要望に応じて催しものを行っています。又、利用者の新聞“びっと”やこども新聞も発行されています。
話しあい、読書会、共同研究、こども会、講演会、映画会、展示会等、自主グループの活動の相談、協力もいたします。
- 「本との出会い、人との出会い」**これが八広図書館です。



墨 田 区 立 図 書 館 所 在 一 覧

あ ず ま 図 書 館	墨田区文花1-19-1	〒 131	電話 612-6226・6048
緑 図 書 館	墨田区緑2-23-3	〒 130	電話 631-4621
寺 島 図 書 館	墨田区東向島3-34-4	〒 131	電話 611-4610
立 花 図 書 館	墨田区立花6-8-1-101	〒 131	電話 618-2620・2640
八 広 図 書 館	墨田区八広5-10-1-104	〒 131	電話 616-0846 (代)

昭和57年3月作成

墨 田 区 立 図 書 館



寄贈図書

